

# 西蒲区・将来のまちづくり

令和3年1月  
西蒲区建設課

写真：『上堰湯と西蒲三山』 樋口廣治  
2019年巻・若室温泉郷観光写真コンテスト入賞作品

## はじめに

### 「暮らし続けられるまち」ってどんなまち？

- ・これまでのまちづくりは過去の実績からトレンドを予測して必要な対策を講じてきました
- ・現在、全国的な人口減少が予測され、考え方を改めることの重要性が叫ばれています
- ・過去の実績にとらわれず、目標や理想の姿を描き、現在をふり返って対応策を考えることの方が有益であると考えられるからです
- ・経験したことのない人口減少と超高齢社会に向かいつつある今、暮らし続けられるまちとはいったいどんなまちなのかを経済成長期の頃とは少し思考を変えて検討してみます

### 区の将来像

- ・本市は「安心協働都市、環境健康都市、創造交流都市」の3つを都市像に掲げまちづくりに取り組んでいます
- ・さらには、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを進めるため、区ビジョンまちづくり計画に基づき区民の皆さんと区の将来像を共有しながら協働で取り組みを進めています

### 将来のまちづくり

- ・新潟市都市計画基本方針では、概ね20年先を見据えた住宅・工業・商業の土地利用に関する方向性が示されており、全市と各区のまちづくりの基本方針がまとめられています
- ・策定から10年以上が経過したこともあり、本年度（R2）その改定作業にあたっています
- ・ここでの検討結果や様々なご意見を踏まえ、将来のまちづくりの方向性を共有して行きます

## ■ 目次

### 1 西蒲区の現状・課題

- (1) 人口 . . . . . 04
- (2) 土地利用 . . . . . 09
- (3) 交通 . . . . . 10
- (4) 産業 . . . . . 11
- (5) 安心・安全 . . . . . 12
- (6) 財政 . . . . . 13

### 2 西蒲区の都市づくり

- (1) 都市計画 . . . . . 15
- (2) 市街地形成 . . . . . 16
- (3) 区別構想 . . . . . 17

### 3 将来のまちづくり

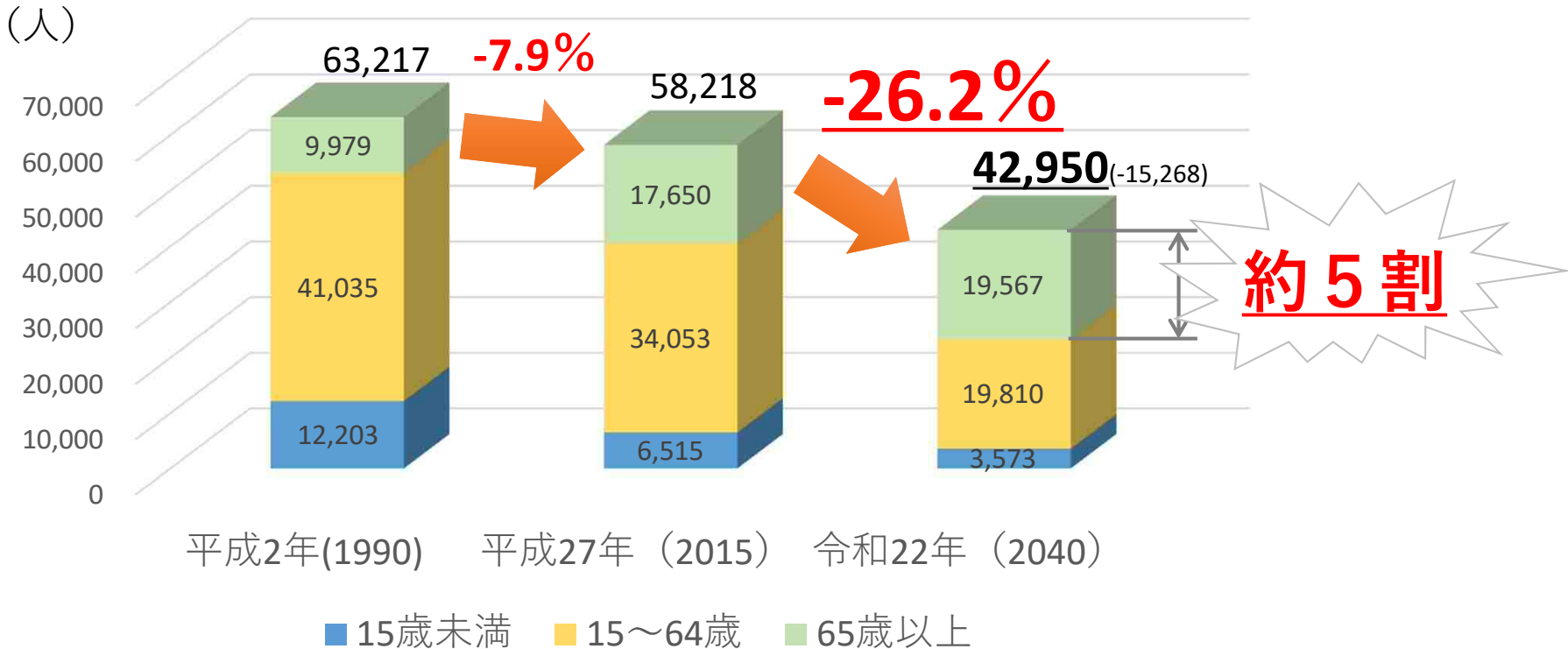
- (1) 区づくりの方向性 . . . . . 19
- (2) 将来のまちのイメージ . . . . . 20

A scenic landscape featuring a large body of water in the middle ground, surrounded by rolling hills and mountains in the background. The foreground is filled with dense green foliage, and a tree branch with leaves hangs down from the top of the frame. The overall scene is bright and clear.

# 1 西蒲区の現状・課題

# (1) 人口 ～人口推移と推計～

- ・本市の人口総数のピークは平成17年(2005)の813,847人で以降は減少傾向に転じている
- ・令和22年(2040)の推計人口は、今後市全体で11.2%減少し、なかでも西蒲区は26.2%と市内一減少することが見込まれている
- ・65歳以上人口の割合が区の人口総数の約半数となり、かつてない超高齢社会を迎える



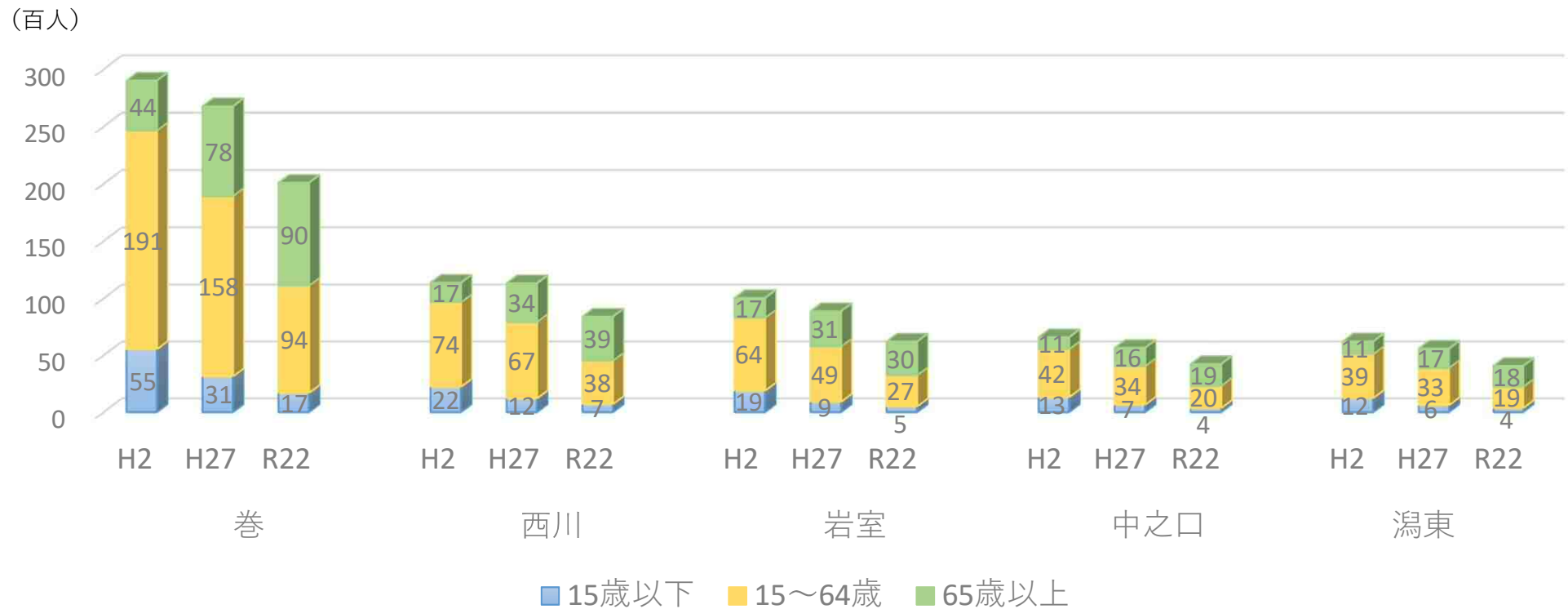
■ 各区の人口と減少率

年次	市全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区
平成27年(2015)	810,157	76,328	137,577	183,767	68,906	76,843	45,685	162,833	58,218
令和22年(2040)	719,441	63,690	115,482	178,925	59,465	64,116	35,603	156,064	42,950
減少率	-11.2%	-16.6%	-16.1%	-2.6%	-13.7%	-16.6%	-22.1%	-4.2%	-26.2%

国勢調査(H27)、推計値(新潟市全体)は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H30年推計)」、推計値(各区)はH27国勢調査を基準として新潟市推計区別人口は新潟市推計によるため合計値は一致しない

# (1) 人口 ～地区別の人口推移と推計～

- ・ いずれの地区においても65歳以上の人口が増加し、それ以外の年齢層は減少傾向にある
- ・ また、15歳以下の人口についても平成2年(1990)の1/3以下の規模となることが見込まれる



■ 各地区の人口と減少率

年次	西蒲区	卷	西川	岩室	中之口	潟東
平成2年(1990)	63,217 (0.0%)	29,020 (0.0%)	11,365 (0.0%)	10,035 (0.0%)	6,582 (0.0%)	6,215 (0.0%)
平成27年(2015)	58,218 (△7.9%)	26,761 (△7.8%)	11,318 (△0.4%)	8,869 (△11.6%)	5,649 (△14.2%)	5,579 (△10.2%)
令和22年(2040)	42,950 (△26.2%)	20,064 (△25.0%)	8,403 (△25.8%)	6,200 (△30.1%)	4,224 (△25.2%)	4,058 (△27.3%)

国勢調査(H2・H27)、推計値(西蒲区)はH27国勢調査を基準として新潟市推計、推計値(各地区)はH27国勢調査を基準として新潟市西蒲区推計

( )内は前年次との対比割合

(1) 人口～人口動態～

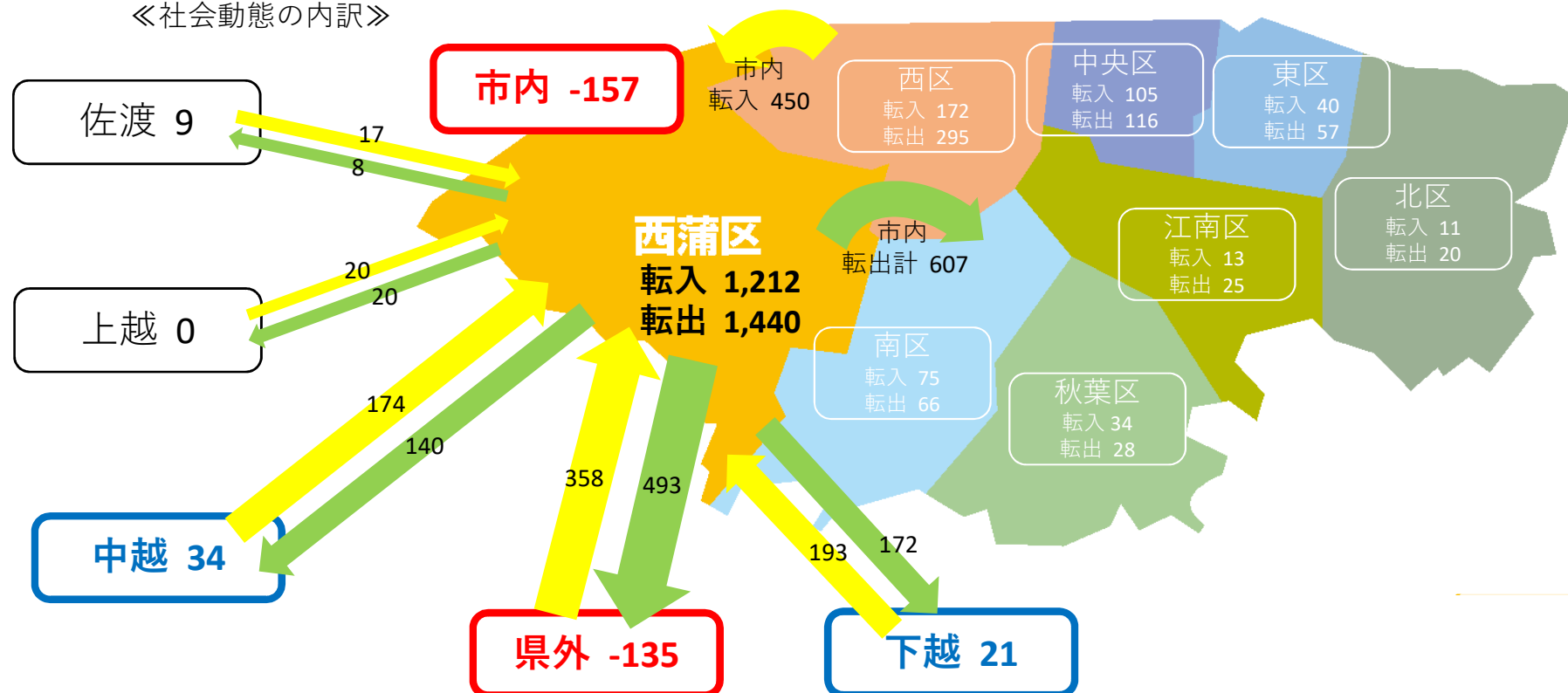
- ・ 転出超過な状況、市内（西区）への転出が最も多く、次いで県外への転出が多い
- ・ 下越、中越地方からは転入超過な状況、燕市、長岡市、三条市の順に多い

単位：人

H30. 10. 1	自然動態			社会動態					年間増減
	出生	死亡	差引	転入		転出		差引	
				県内	県外	県内	県外		
市全体	5,436	9,224	-3,788	19,170	11,371	17,040	13,795	-294	-4,082
西蒲区	296	764	-468	854	358	947	493	-228	-696

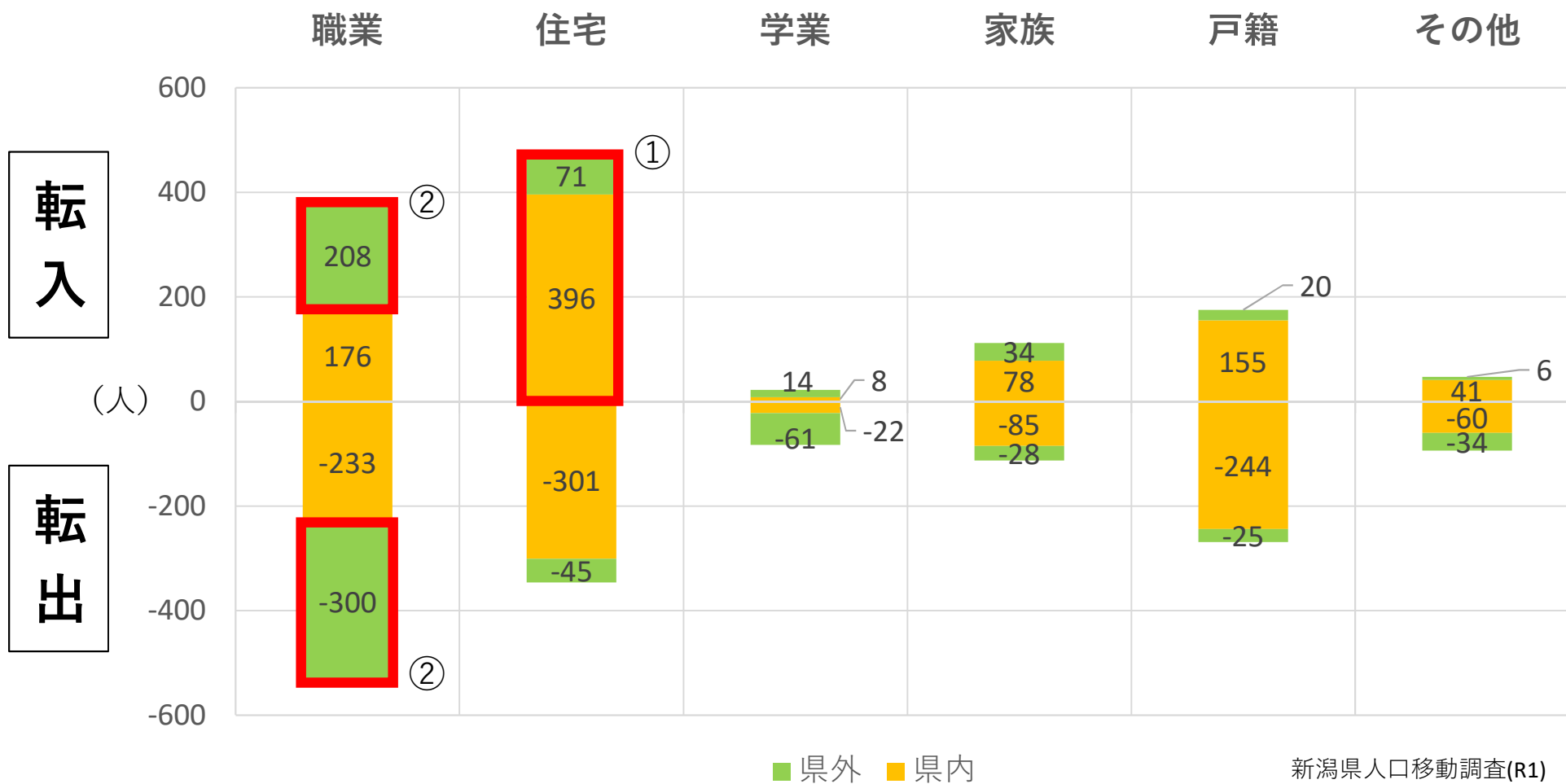
新潟県人口移動調査(R1)

《社会動態の内訳》



(1) 人口 ～移動理由～

- ・住宅を除く全ての理由で、西蒲区は転出超過な状況 ※①
- ・全体的に県内の転入出が多くを占めるが、職業理由だけ県外の転入出が県内より多い ※②





(1) 人口 ～現状・課題の整理～

○ **持続可能なまちづくり**へと舵を切らないとまちを維持していくことは極めて困難な状況にある

(現状)

- ・ 西蒲区の少子高齢化は、**8区の中でも特に顕著**となることが見込まれている
- ・ 全国的にも人口減少が予測されるなかで、人口増加を考えていくことは望ましくない
- ・ 人口流出を抑制し、人口流入を促進させる施策を展開して行こうと「**にしかん未来デザイン**」アクションプランが取り組まれている
- ・ 一方、一部の地域からの人口動態や移動理由からは、少なくとも**転入超過の要因**が見受けられる

## (2) 土地利用

### ○ 優れた自然環境を守り、暮らし続けられる土地利用の実現を図る必要がある

(現状)

- ・ 区の面積は176.57km<sup>2</sup>と市内8区の中で最も広い（市域の4分の1）
- ・ 地形は変化に富み、市内で唯一、海・山・平野を併せ持っている
- ・ 開拓から200年の歴史を有する蒲原平野が広がっている
- ・ 区の約6割（57%）が田・畑・樹園地などの農地として利用されている
- ・ 巻潟東インターチェンジ周辺や幹線道路沿いに工業団地が立地している
- ・ 地域公共交通網の主要な結節点となる巻駅西側にはまき鯛車商店街が形成されている
- ・ 角田や岩室温泉周辺には多くの観光施設が立地している
- ・ 住居系の面積の割合は6%と少なく、かつ人口減少や超高齢化の影響もあってスポンジ化現象が発生している

## (3) 交通

- 区内外への移動を円滑化させる **骨格的な道路ネットワーク**の形成が求められている
- 公共交通空白地域の不便さの解消や **区内公共交通全体の活性化と利便性向上**が望まれる

## (現状)

- ・ 区内には、鉄道をはじめ、高速道路や国県道といった **幹線道路**や生活を下支えする市道が縦横無尽に張り巡らされている
- ・ JR越後線の巻駅・越後曾根駅・岩室駅、北陸自動車道 巻湯東インターチェンジは重要な **交通結節点**として機能している
- ・ 巻駅周辺整備を契機とした **地域拠点の活性化**が叫ばれている
- ・ 路線バスや区バスなどの運行により、各生活拠点に接続する **公共交通網**が形成されている

## (4) 産業

- 農業では、**農産物の6次産業化**をさらに推進することはもとより**就労人口の確保**が急務となっている
- 区内には12の工業団地があり、**事業用用地の規模拡張**に係るニーズへのきめ細かな対応が求められている
- 恵まれた**自然環境**や**観光資源**を活かした観光も重要な産業でありこれによる**交流人口の創出**が望まれる

### (現状)

- ・ 本市は米の収穫量で日本一を誇りその中で西蒲区は**市内一広い作付面積**を有している
- ・ 稲作のほか、果樹栽培や砂丘地を利用した園芸作物の生産も盛んで**農業が基幹産業**となっている
- ・ 「食と農」に関するレストランや新潟ワインコースト、歴史ある岩室温泉など多くの**観光資源**がある

## (5) 安心・安全

- **災害に強い都市基盤**を整備し、市民一人ひとりが適切な行動がとれるよう**地域防災力**を強化する必要がある
- **災害リスクを考慮した住まい方への工夫**が望まれる

### (現状)

- ・ 近年の度重なる大災害の発生から、**防犯**や**防災（減災）**などに対する市民の関心や意識がますます高まっている
- ・ エネルギーや環境保全に関しては、**地球規模の社会的課題**にもしっかりと対応していく必要がある
- ・ 人口減少に伴い**空き家の増加**が身近な問題として急激に発生している
- ・ 地域の居場所や子育て世代、若者の居住につなげるなど、地域の**安心度向上**につなげる活用が望まれる
- ・ 西蒲区には、市街地での**浸水害**や急傾斜地における**土砂災害**等が発生する恐れのある箇所も多い

## (6) 財政

○ 今後、公共施設等の維持修繕・更新費用のより一層の増加が見込まれることから、必要性や効率性の観点から**選択と集中**が求められている

(現状)

- ・ 人口減少、人口構成の変化から将来の**財源確保が不透明**な状況にある
- ・ 一方、高齢化の進行などにより**社会保障費の増加**が予測されている
- ・ 本市の市民1人当たりの市公共施設面積は、政令市最大となっており、施設が耐用年数の超過・老朽化を迎えても**現状規模で更新することは困難**な状況にある
- ・ 道路、橋梁、上水道、下水道などの**インフラ資産**についても高度経済成長期以降にその多くが整備されたもの

■ 社会基盤の現状と割合

項目	道路					河川		海岸	国定公園	公園緑地
	国道	県道	市道	橋梁	トンネル	1級	2級			
市全体	113.8km	541.8km	6,214.3km	3,954橋	14箇所	267.7km	61.0km	56.9km	6,781.3ha	1,187.6ha
西蒲区	40.4km	124.0km	1,288.2km	1,350橋	13箇所	31.7km	47.5km	17.3km	5,435.8ha	91.9ha
割合	36%	23%	21%	34%	93%	12%	78%	30%	80%	8%

道路は市土木総務課調べ

河川・海岸・公園等は西蒲区役所調べ



## 2 西蒲区の都市づくり

# (1) 都市計画

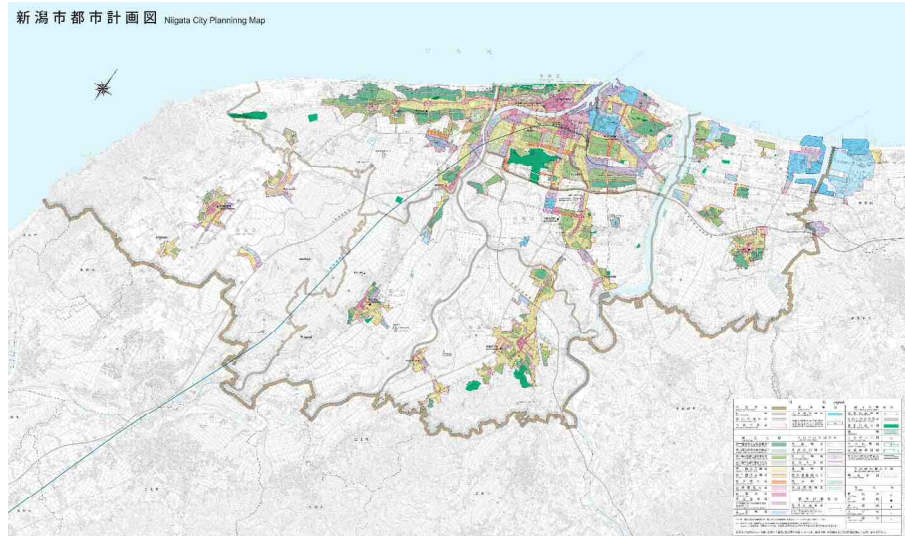
- ・無秩序にまちが広がらないように、一定のルールに基づいて建物の建築などを制限

## ■ 区域区分 (線引き)



出典) 国土交通省HP

## ■ 都市計画図



## ■ 用途地域

出典) 国土交通省HP

			
<b>第一種低層住居専用地域</b>	<b>第二種低層住居専用地域</b>	<b>第一種中高層住居専用地域</b>	<b>第二種中高層住居専用地域</b>
低層住宅の良好な環境を守るための地域です。小規模なお店や事務所を兼ねた住宅や小中学校などが建てられます。	主に低層住宅の良好な環境を守るための地域です。小中学校などのほか、150㎡までの一定のお店などが建てられます。	中高層住宅の良好な環境を守るための地域です。病院、大学、500㎡までの一定のお店などが建てられます。	主に中高層住宅の良好な環境を守るための地域です。病院、大学などのほか、1,500㎡までの一定のお店や事務所などが建てられます。
			
<b>第一種住居地域</b>	<b>第二種住居地域</b>	<b>準住居地域</b>	<b>近隣商業地域</b>
住居の環境を守るための地域です。3,000㎡までの店舗、事務所、ホテルなどは建てられます。	主に住居の環境を守るための地域です。店舗、事務所、ホテル、パチンコ屋、カラオケボックスなどは建てられます。	道路の沿道において、自動車関連施設などの立地と、これと調和した住居の環境を保護するための地域です。	近隣の住民が日用品の買い物をする店舗等の利便の増進を図る地域です。住宅や店舗のほか、小規模の工場も建てられます。
			
<b>商業地域</b>	<b>準工業地域</b>	<b>工業地域</b>	<b>工業専用地域</b>
銀行、映画館、飲食店、百貨店、事務所などの商業等の業務の利便の増進を図る地域です。住宅や小規模の工場も建てられます。	主に軽工業の工場等の環境悪化の恐れのない工業の利便を図る地域です。危険性、環境悪化が大きい工場のほかは、ほとんど建てられます。	主として工業の業務の利便の増進を図る地域で、どんな工場でも建てられますが、学校、病院、ホテルなどは建てられません。	専ら工業の業務の利便の増進を図る地域で、どんな工場でも建てられますが、住宅、お店、学校、病院、ホテルなどは建てられません。



## (2) 市街地形成

- ・市全域が都市計画区域に指定され、そのなかでも市街化区域内では道路や公園、下水道などの都市施設が計画的に整備が進められている
- ・西蒲区内には、4つの地区で地域地区が設定



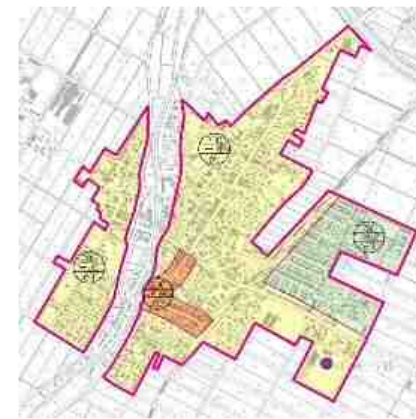
↑ 西川地区 209ha・7,360人



↑ 巻地区 313ha・12,063人



漆山地区 →  
106ha・1,386人



↑ 岩室地区 94ha・1,738人

### ■ 区域別の面積と人口（割合）

	面積 (ha)		人口 (人)	
	市全体	西蒲区	市全体	西蒲区
市街化区域	13,010.7 (17.9%)	720.6 (4.1%)	647,250 (79.9%)	22,547 (38.7%)
市街化調整区域	59,678.3 (82.1%)	16,929.4 (95.9%)	162,907 (20.1%)	35,671 (61.3%)

都市計画基礎調査 (H30)、国勢調査 (H27)

### (3) 区別構想

- ・新潟市都市計画マスタープランには、全市と各区のまちづくりの基本方針が示されている
- ・概ね20年先を見据えた、住宅・工業・商業の土地利用に関する方向性がまとめられている
- ・策定から10年以上が経過しており本年(R2)改定を行う

図 西蒲区構想図



《西蒲区の将来像》 -区ビジョン基本方針より-  
 ~豊かな自然環境や観光資源に恵まれた、人と人が温かくふれあうまち~

- 《区づくりの方向性》
- ①巻駅周辺を地域拠点として機能の充実を図ります。岩室、西川、潟東、中之口の各中心部を生活圏の拠点として機能を強化します。
  - ②広大な農地の多面的機能の維持向上に努めるとともに、基幹産業である農業の振興を図り、都市と農村が共生するまちづくりを進めます。
  - ③国道116号、国道460号の交差点を中心として、海岸側の国道402号および、今後、整備に取り組む(仮称)新潟中央環状道路により骨格的な道路ネットワークを形成します。
  - ④区民生活に必要な公共交通の利便性の向上を図ります。また、巻湯東インターの交通結節点としての機能を活かした整備などに取り組みます。
  - ⑤海、山、平野からなる恵まれた自然環境を保全するとともに、区の観光資源として有効活用を図り、岩室温泉など観光拠点づくりに取り組みます。



# 3 将来のまちづくり

# (1) 区づくりの方向性

## 【西蒲区の課題】

- 【人 口】 持続可能なまちづくりへと舵を切る
- 【土 地 利 用】 優れた自然環境を守り、暮らし続けられる土地利用の実現を図る
- 【交 通】 骨格的な道路ネットワークの形成と区内公共交通全体の活性化と利便性向上を図る
- 【産 業】 農・商・工業の振興を図り、産業の活性化を図る
- 【安心・安全】 恵まれた自然環境や観光資源を活かした観光の振興により交流人口を創出する
- 【財 政】 災害リスクを考慮した住まい方への工夫を凝らし地域防災力を強化する
- 【財 政】 公共施設を維持していく上で、必要性や効率性の観点から選択と集中を図る

## 【取組方針】

地域拠点の活性化

生活拠点の充実

交通ネットワークの形成

暮らし続けられるまちの実現

## 【区の将来像】

豊かな自然、  
歴史と文化のかおりに  
満ちあふれ、  
人と人があたたかく  
つながるまち

## (2) 将来のまちのイメージ

### 地域拠点の活性化

- ・ 巻駅周辺を地域拠点として機能の充実を図ります。

20年後の  
2040年には  
西蒲区が  
こんなまちに  
なっていると  
いいですね！



巻駅周辺が整備されて、まちの雰囲気の良い具合に変わってる！

駅前には居心地の良い空間やお店が増えたし、学生や若いひとの姿を多くみかけるようになった

20年前より、アパートも増え、人口もあまり変わっていないんじゃないかな？  
あと高層マンションもポツポツと建ってる

鯛車の大きなモニュメントが駅を降りるとあって、映えスポットになってる！

商店街にも土日になると若い人が多く訪れていて、そこから角田や岩室方面へバスで向かう人たちの姿を多く見かける

エリアマネジメント会社が立ち上がろうとしている！

※ ここでは、より良いアイデアを思い描いていただくために**20年後のまちのイメージ**を例示しています。

## (2) 将来のまちのイメージ

### 生活拠点の強化

- ・岩室、西川、湯東、中之口の各中心部を生活圏の拠点として機能を強化します。

20年前に比べ、全国的に田園暮らしを求める志向が高まったような気がする

田園地域の空き家をリフォームしたサテライトオフィス需要が増加傾向にある

生活拠点の核となる出張所周辺には、多彩な生活利便施設の複合化が進み、わざわざ地域拠点へ出向かなくても用事が足せるようになった

遠隔医療の充実やドローンによる移動販売も頻繁に行われるなど、高齢者にとっても不便なく暮らして行ける環境が提供されている

公共交通も通勤、通学、通院と言った目的ごとに細分化された移動手段ができあがり、以前よりも随分と移動し易くなった！

小型モビリティも随分と普及して、お年寄り向けにオンデマンドの自動運転車両が田園地域と生活拠点を往来する移動サービスを提供している

20年後の  
2040年には  
西蒲区が  
こんなまちに  
なっていると  
いいですね！



※ ここでは、より良いアイデアを想い描いていただくために**20年後のまちのイメージを例示**しています。

## (2) 将来のまちのイメージ

### 交通ネットワークの形成

- ・ 主要な国県道の整備により骨格的な道路ネットワークを形成します。
- ・ 区民生活に必要な公共交通の利便性向上を図ります。

20年後の  
2040年には  
西蒲区が  
こんなまちに  
なっていると  
いいですね！

6G（第6世代移動通信システム）の商用化が進み、人間よりはるかに賢いAIが普及し、目覚ましいデジタル技術の進展が遂げられた

中央環状道路が全線開通して、市内移動がより便利になった！

公共交通も通勤、通学、通院と言った目的ごとに細分化された移動手段ができあがり、以前よりも随分と移動し易くなった！（再掲）

生活道路では歩行空間が以前より広がり、歩いて用事を足す人が多くなった  
➤ 市民の1日当たりの平均歩数（2040年）：8,000歩/全国政令市中で第1位

小型モビリティも随分と普及して、お年寄り向けにオンデマンドの自動運転車両が田園地域と生活拠点を往来し移動サービスを提供している（再掲）

観光周遊バスの自動運転化に向けた社会実験が来年から始まるらしい?!



※ ここでは、より良いアイデアを想い描いていただくために**20年後のまちのイメージを例示**しています。

## (2) 将来のまちのイメージ

### 暮らし続けられるまちの実現

- ・都市機能の維持と田園暮らしの充実に向けた土地利用の展開を図ります。
- ・農業、商工業の振興・活性化を図り、定住や雇用の創出につながる施策を展開していきます。
- ・角田や岩室温泉などの交流機能をさらに磨き上げ、本市への移住促進や観光振興を図り、交流人口の拡大につなげます。

田園暮らしの価値がこれまでに増して高まりを見せている！

ワーケーションやデュアルライフを目的とした関係人口の増加により西蒲区の人口も概ね20年前の規模に回復することが見込まれているらしい？！

10年前には、一旦途絶えた感のあった地域のコミュニティも、徐々にではあるが盛り返し、近年では地域課題の解決に積極的に取り組んでいる

農産物の6次産業化が劇的な進展を見せ多くの若者が挙ってトライアルしている

過去20年間の西蒲区への観光入り込み客数は右肩上がりを記録しており、これに併せて区民のふるさとへの愛着や誇り（シビックプライド）も高まりつつある

また明日、岩室温泉の旅番組が全国ネットのテレビ番組で放映されるらしい！

20年後の  
2040年には  
西蒲区が  
こんなまちに  
なっていると  
いいですね！



※ ここでは、より良いアイデアを想い描いていただくために**20年後のまちのイメージ**を例示しています。



## 「暮らし続けられるまち」ってどんなまち？

### ◇ コンパクト プラス ネットワークなまち

- 集約化を図りながら地域間のつながりを弱めないこと
- 今あるサービスを維持できるような人口密度を確保すること

### ◇ 特色ある区づくりに取り組んでいるまち

- 先導的な田園暮らしを試みて市全体を牽引していくこと

### ◇ 地域の魅力を磨き上げているまち

- 資源の埋没を防ぎ、更新を怠らないこと

### ◇ 情報発信し続けているまち

- まずは西蒲区のことを知ってもらうこと